

社会資本総合整備計画

平成23年3月25日

計画の名称		1 地域制緑地の保全と安心安全なまちづくり														
計画の期間		平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)				交付対象		神奈川県								
計画の目標		歴史的風土保全地区等の地域制緑地を、買入による確実な保全や急傾斜地に隣接する住民の安全の確保のための防災工事だけでなく、生物多様性の確保などみどりの質の向上を地元自治体との連携の強化を図りながら、景観の保全と都市住民の自然とのふれあいの場としての活用を進めていくことを目標とする。														
計画の成果目標(定量的指標)		行為の不許可処分に伴う買入申し出のあった古都保存特別保全地区等の緑地の買入を進める。年あたり8haづつ緑地の買入れを進めることとし、平成22年度末現在、買入により公有地化された地域制緑地面積280haを平成27年度末320haに増加させる。 地域住民の安全確保のため、法面崩落対策工事を年2箇所づつ実施する。														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値					備考				
							当初現況値 (H22年度末)		中間目標値 (H25年度末)		最終目標値 (H27年度末)					
							280ha 2箇所		304ha 8箇所		320ha 12箇所					
公共地化した面積を計測する。 工事実施箇所を計測する。																
拠点施設・重点地区																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	古都	一般	神奈川県	直接	神奈川県	古都保存事業(朝比奈歴史的風土保存区域)	用地買収、防災工事、園地整備	鎌倉市							532	
1-A-2	古都	一般	神奈川県	直接	神奈川県	古都保存事業(八幡宮歴史的風土保存区域)	用地買収、防災工事、園地整備	鎌倉市							1,146	
1-A-3	古都	一般	神奈川県	直接	神奈川県	古都保存事業(大町・材木座歴史的風土保存区域)	用地買収、防災工事、園地整備	鎌倉市・逗子市							1,422	
1-A-4	古都	一般	神奈川県	直接	神奈川県	古都保存事業(長谷・極楽寺歴史的風土保存区域)	用地買収、防災工事、園地整備	鎌倉市							1,410	
1-A-5	古都	一般	神奈川県	直接	神奈川県	古都保存事業(山之内歴史的風土保存区域)	用地買収、防災工事、園地整備	鎌倉市							452	
1-A-6	近緑	一般	神奈川県	直接	神奈川県	緑地保全等事業(小網代近郊緑地保全区域)	保全利用施設の整備	三浦市							448	
1-A-7	近緑	一般	神奈川県	直接	神奈川県	緑地保全等事業(相模原近郊緑地保全区域)	保全利用施設の整備	相模原市							50	
1-A-8	緑保	一般	神奈川県	直接	神奈川県	緑地保全等事業(相模川特別緑地保全地区)	土地の買入れ等(1ha、1地区)	座間市							100	
1-A-9	緑保	一般	神奈川県	直接	神奈川県	緑地保全等事業(泉の森特別緑地保全地区)	土地の買入れ等(1ha、1地区)	大和市							100	
1-A-10	緑保	一般	神奈川県	直接	神奈川県	緑地保全等事業(引地川特別緑地保全地区)	土地の買入れ等(1ha、1地区)	藤沢市							100	
1-A-11	緑保	一般	神奈川県	直接	神奈川県	緑地保全等事業(境川特別緑地保全地区)	土地の買入れ等(1ha、1地区)	藤沢市							100	
														5,860		
全体事業費		合計 (A+B+C)		5,985百万円		A	5,860百万円	B	0百万円	C	125百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)			2.1%	
交付対象事業																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	計画・調査	一般	神奈川県	直接	神奈川県		施設整備等設計事業	自然環境調査、測量、施設整備基本設計	鎌倉市、三浦市							25
1-C-2	施設整備	一般	神奈川県	直接	神奈川県		樹林地整備事業	緑地の質と景観の向上を図ることを目的とする計画に基づき、日照量の確保のための間伐や、生物多様性確保のための外来生物の駆除、湿地環境の回復のための水路の補正など自然環境の再生	鎌倉市、三浦市、相模原市、座間市、藤沢市							100
									合計					125		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C-1	園路などの施設整備の準備を行うことで、保全するだけでなく、自然観察などの活用を促進することが可能になる。															
1-C-2	樹林の間伐や水辺の整備、外来生物の駆除等による自然の再生を計画的に行うことにより、樹林地の効用を高め、緑地の質の向上を図ることで自然観察など野外活動などの活用を促進することが可能になる。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風土特別保存地区等において、法令の規定に基づく地域制緑地の買入れにより、確実な歴史的風土の保存及び緑地の保全を進めることができた。 ・歴史的風土特別保存地区における法面崩落対策工事の実施により、急傾斜地に隣接する住民の安全性が向上した。 			
------------------------------	---	--	--	--

定量的指標の達成状況	指標（公有地 化した面積を計測）	最終目標値	320 ha	目標値と実績値 に差が出た要因	計画期間内において買入れた地域制緑地の面積は36.5haで、年あたり7.3haとなり、目標である年あたり8haにほぼ近い数字となっている。
		最終実績値	316.5 ha		
	指標（工事実 施箇所を計測）	最終目標値	12 箇所	目標値と実績値 に差が出た要因	必要箇所の整備を、県単独事業においても進めたため。
		最終実績値	10 箇所		

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小網代近郊緑地特別保全地区において、緑地保全に必要な施設を整備し、平成26年度に一般開放して都市住民の自然とのふれあいの場として活用した。 			
------------------------	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も、古都保存法等による買入れ申出に基づく買入れに対応するとともに、必要な施設の整備を実施していく。

(参考図面)

